

2021-22 年度 RI テーマ：奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために  
ガバナー方針：「チェンジローター 新時代への成長に！」— コロナゼロ・カーボンゼロ支援 —  
クラブ方針：「楽しく、優雅なローター活動を」～ Enjoy & Grace Under Pressure ～



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

## 名古屋空港ロータリークラブ

名古屋市中村区名駅 3-11-13 レジデンス鈴木 1101  
TEL) 052-446-6811 [FAX] 052-446-6812  
E-Mail: rongoapt@mta.biglobe.ne.jp  
会長/ 田邊 雅彦  
幹事/ 川口 直也  
公共イメージ向上委員長/ 杉本 敦永  
例会日/毎週月曜日 12:30~13:30  
例会場/名古屋マリオットアソシアホテル



## 第 2064 例会

2021 年 7 月 19 日 (月) 第 3 回

- 点 鐘 会長 田邊 雅彦 君
- 齊 唱 「4つのテスト」
- 例会行事 創立記念例会  
創立記念卓話 武田 英昭パスト会長  
「温故知新」
- 司 会 照井 通夫 SAA 委員長

### 会長挨拶

名古屋空港ロータリークラブ会長 田邊 雅彦 君



会員の皆様、こんにちは。四連休はいかがでしたでしょうか。オリンピックが始まりましたが、ご自宅で、ご家族で安心安全なオリンピック観戦を楽しまれておられますでしょうか??

今日は武田英昭パスト会長による創立記念卓話です。武田パスト会長よろしくお願ひします。

名古屋空港ロータリークラブの創立日は 7 月 29 日ですが、本日 7 月 26 日は「幽霊の日」なのだそう。そんな日があること自体知りませんでしたし、驚きましたが、昔から幽霊や怪談といえば夏の風物詩ですので、それゆえに・・・と思ってましたがちょっと違うようです。

1825 年(文政8年) 7 月 26 日に江戸・中村座で歌舞伎

「東海道四谷怪談」(鶴屋南北 4 代目の脚本)が初演されたことが、幽霊の日の由来となっているそうです。物語は皆さんよくご存じの通り「夫・伊右衛門に惨殺された妻・岩が幽霊となって復讐を果たす」という物語で、これは元禄時代(1680 年代)実際に起きた事件をモデルにして作られた作品です。

現在も東京新宿区に於岩稲荷田宮神社があり、お岩の墓は巢鴨の妙行寺にあります。四谷怪談のストーリーは、これまで幾度となく舞台・演劇や映画、テレビドラマ化されてきたため、様々なバリエーションが存在しています。映画では昭和 24 年、木下恵介監督・田中絹代主演による「新釈・四谷怪談」を皮切りに昭和時代に 8 本、平成時代に 2 本の映画が作られています。

小説では、1997 年に出版され、2004 年に映画化もされた京極夏彦の「嗟う伊右衛門」が、現代版・四谷怪談として皆さんの知るところではないでしょうか。

さてこの四谷怪談、意外と知られてないことがあります。実はこの「四谷怪談」、初演の時は、赤穂浪士の討ち入りを描いた「忠臣蔵」のスピノフ、すなわち「忠臣蔵外伝」として書かれたものだったのです。

岩は、浅野内匠頭の家臣の四谷左門の娘であり、伊右衛門はその婿で浅野家の浪人。その伊右衛門が岩を見捨てて若い娘と結婚するのですが、その娘こそ吉良上野介の家臣、伊藤喜兵衛の孫娘でした。

つまり伊右衛門は浅野家を裏切り、吉良家の家臣へ転身してしまっただけです。四谷怪談に出てくる岩の「恨めしや〜」は、忠臣蔵同様、浅野家を正義とした場合、吉良家が悪である、という構図として浮かび上がってくる物語となっているんです。

こうした約 200 年前に作られた怪談が、未だ現代の我々を魅了するのは、とても興味深いスピリチュアルなテーマだと思っています。

幽霊大国イギリスでは幽霊保険なるものもあるようですが、日本におけるお化けや妖怪、海外におけるゴーストやモンスター等を比較対象して、民俗学的な視点で恐怖に対する心理的な関係を紐解いてみるもの面白いかなと思

っていますので、今後の課題ということで、改めてご報告させていただきます。

それでは、本日もよろしくお願ひ申し上げます。

# 卓話

クラブ創立記念例会卓話  
43代会長 武田 英昭 君

## 委員会報告

### ●出席報告 (三治 明 委員)

本日の例会					
会員数	47		出席率	89.36%	
出席者	出席義務者	22	欠席者	出席義務者	5
	出席免除者	15	出席免除者	出席免除者	5
	出席者計	37	欠席者計	欠席者計	10

### ●ニコニコボックス報告 (稲吉 将秀副委員長)

武田英昭パスト会長創立記念卓話宜しくお願ひします。

田邊 雅彦 君

武田パスト会長、卓話宜しくお願ひ致します。

川口 直也 君

「祝・創立記念日」拙い卓話ですが、宜しくお願ひします。

武田 英昭 君

武田 PP の卓話、楽しみです。

稲吉 将秀 君

武田パスト会長卓話楽しみにしています。

入谷 宏典 君

ゴルフ部会、優勝有難う。

高山 光雄 君

武田 PP の卓話楽しみにしています。

串田 正克 君

武田パスト会長、卓話楽しみにしています。

山内 佳紀 君

武田 PP の卓話楽しみにしています。

伊藤 康司 君

武田パスト会長の卓話、楽しみにしています。

三治 明 君

武田 PP の記念卓話、期待しています。

中島 俊朗 君

武田パスト会長、卓話宜しくお願ひします。

原田 好展 君

今日も元気で！

照井 通夫 君	阿萬 裕子 君	鈴木 恵一 君
大野 和宏 君	堀場 竜司 君	中林 正人 君
安江 寛二 君	石川 良治 君	暮沼勇二郎 君
近藤 和彦 君	北園 守生 君	稲熊 正徳 君
真城 壮司 君	國田武二郎 君	金井 和治 君
川瀬 公 君	伊勢村道雄 君	

御協力ありがとうございました。

本日の協力	30名	49,000円
本年度の協力累計		248,000円



本日のクラブ創立記念例会は、夜間例会として「チャーターメンバーに敬意を表し、会員相互の友情を深めると共に創立記念日を祝い、本年度田邊年度の成功を祈る会」と存じますが、このコロナ禍の影響で通常例会での開催となりました。

昨年から続くこのコロナ禍は、日常生活にマスクが必需品となる等、皆様の仕事、生活等、随分影響を及ぼしているかと存じます。先週(19日)、イギリスでは、大きな賭けに出たのかコロナ流行に伴う法的規制の大半が解除され、若者がナイトクラブで乱舞する報道が流れておりました。一方、我国では、夏の高校野球甲子園大会の地方予選において、学校関係者の感染による地方予選大会の辞退、特別な救済措置で出場等、「ワクチン接種」が進んでいるといっても、未だ未だ、各方面で混乱が続いている状況です。

私は、このコロナ禍の「緊急事態宣言下」で一つの漢字「逼迫」を知ることが出来ました。実は、「逼(ヒツ、ヒョク、せまる)」の漢字をこの年になるまで知らず新しい漢字「逼」を覚える事ができました。只、「逼」の文字だが、ニュース・新聞紙面に於いて、漢字を構成する部首が「二点しんによろ」や「一点しんによろ」を使ったり、「ひらがな」で表記されていたりでした。明治時代に近代化を目指した「学校教育制度」で、漢字の形を法律で制定する際、中国・清の時代(西暦1700年頃)に編纂された辞典「康熙字典」の漢字を模範とし、「二点しんによろ」を採り入れたそうです。只、書道界は、「楷書の手本は、唐の初期にあり」という諺があるらしく明治時代以前から「一点しんによろ」で書くことが普通だったそうです。その後、第二次世界大戦終結後、より分かりやすい教育を目指し漢字の一部を簡略化する事を計画、この時に「二点しんによろ」をまとめて「一点しんによろ」に変更されたそうです。只、「常用漢字は、「一点しんによろ」を正しいとする」と定めたものの、常用漢字以外の漢字は、全く触れず「二点しんによろ」のまま残っていたようで2010年に新たに196字が追加された「新常用漢字表」が作成する時



に、常用漢字の範囲外だった「二点しんにょう」の漢字を追加するか、「一点しんにょう」に統一するか、随分意見が分かれたようです。結果としてパソコン等の文字（フォント）が普及されており「二点しんにょう」が含まれていた「謎」「遜る」「遡る」の3文字は、「二点しんにょう」のまま「新常用漢字表」に追加される事になりました。ここで、「常用漢字は、一点しんにょうが正しい」という原則に例外が生まれてしまったようです。

さて話は、変わりますが、2013年9月、アルゼンチン（ブエノスアイレス）のIOC総会において、流行語にもなりました滝川クリステルさんの「お・も・て・な・し」のプレゼンテーションで「2020東京大会」が決定。その歓喜から8年9か月、その間、「国立競技場建替え（メインスタジアムの建設費を理由に）斬新だったザハデザインの変更、エンブレムの盗用疑惑、大会招致疑惑、マラソン開催地の移転、女性蔑視発言による大会組織委員会・会長の交代等」混乱と数々の物議を醸した「復興五輪・2020東京大会」も7月23日に「近代オリンピックで異例の一年遅れ、開催の意義が明確にされないまま競技によっては、無観客開催等、数々の特別な措置を取り入れ、不本意な形で大会」が、開催されました。

「世界平和の祭典」と称されるオリンピックですが、歴史を振り返りますと返上やボイコットによる不完全な形での開催は、決して稀な事ではありません。それは、1980年「モスクワ大会」1979年暮れ、米ソ間で続いていたデタント（緊張緩和）終焉を告げたソ連が、アフガニスタンに侵攻、米国カーター政権は、制裁の一環として「モスクワ大会」不参加を表明し各国に同調を求めました。日本は当初、当然参加を望んだようですが、当時の大平政権（伊藤官房長官）がJOC会合で選手派遣取りやめを強く要請、JOCは泣く泣く従った事は、今でも報道をされております。その4年後、当時のソ連（旧東側諸国）が、報復措置として米軍が、カリブ海のグレナダへ侵攻した事への抗議で1984年「ロサンゼルス大会」をボイコットしております。このように「政治とスポーツは別のもの」というスローガンが全くのお題目に過ぎない事を明確に示したケースであったと記憶しております。只、このような紛争・戦争等に関係なく、平時の時に開催中止に追い込まれたケースもございます。1976年「デンバー大会」では、環境破壊反対や経済的な問題で返上され、急遽、オーストリア（インスブルック）で代替え開催されております。今回、日本がオリンピックの中止・返上となっていれば、過去、戦前の東京大会と、同じ年に開催予定であった冬季札幌大会に引き続き返上。日本は、かつてない「オリンピックを3度も返上した国」になっていたのでは、ないでしょうか。このような過去の返上があって、ある政治家は「オリンピックでは、40年毎に問題が起きた」として今回の東京大会を「呪われた大会」と発言したものかと考えますが、既に開催された「復興五輪・2020東京大会」国民の一人として「新しい生活様式」ならぬ「新しい形での2020東京大会」が、無事成功する事を祈るばかりです。

少し余談な話が長くなりました。改めて本日は、クラブ創立記念例会です。私は、最初の入会（第21代柴田年度）から通算すると20年4か月間、当クラブ会員として過ごしてまいりましたが、当クラブ創立の経緯・歴史等あまり詳しくございませんので、「私自身の入会から現在までの当クラブでの思い出と、創立以来の当クラブ会員数の推移」を中心に少しお話をさせて頂ければと考えております。

当クラブは、春日井RCをスポンサーとして1974年7月29日創立（チャーターメンバー37名）、翌年「知り合いを深めつつ奉仕活動を」のクラブテーマの基、第2代・青木年度には、33名増員し会員数70名のクラブとなっております。その当時の日本は、「第4次中東戦争（1973年10月）勃発で全国のスーパーの店頭からトイレトペーパー・洗剤が消えた「第一次オイルショック」の頃で日本経済は「高度成長期が終え、マイナス成長期時代」となった時代です。このような経済状況下にも拘わらず、会員数だけで見ると「経済とロータリー活動は、別の物」と創立時先輩方は、証明したのではないのでしょうか。当時（1974～89年）の平均会員数64.4名で「安定したクラブ運営」ができたのではと、想像をする事が出来ます。

一方、海外RCとの交流では、創立4年後、海外姉妹クラブ第一号として香港九龍西RC、その後、マカティウエストRC、チャンパークチェンマイRC、そしてウエストホノルルRCと海外姉妹クラブ締結し、相互の親善訪問、奨学基金寄贈等、現在も友好関係を維持しております。

平均会員数で最も多かったのが、90年代の平均会員数が69.4名で「当クラブの黄金期」であったかと思われます。その中でも1993年度には、最多会員人数73名と記録が残されております。

私が最初に入会したのが1995年4月3日、第21代柴田年度で、初めてバッジを授与された当時、ロータリーの事は、全くと言っていい程、理解ができておりませんでした。只、その当時、諸先輩から、事あるたびに「ロータリーの奉仕とは、職業を通して行う奉仕「I Serve」が原点であり、他団体の「We Serve（皆で一緒にやろう）」ではなく、一人一人の職業を通じて、社会に奉仕する事が、ロータリー活動の原点である。」いわゆる、「一つのWe Serveではなくて、100のI Serveの集合で、ロータリーは、個人奉仕が基本である。」と教えられました。そのロータリー活動の真髄である奉仕活動では、当クラブでは、1978年から2005年まで、毎年9月に開催されていた「航空記念日」（現在は「空の日」に改称）に青少年活動・社会奉仕活動の一環として、中部飛行協会と当時の県民生部と協力して、心身障害児・障害者の「招待体験飛行」を実施しておりました。私は、この奉仕活動について忘れられない事があります。入会して4年目「20回目の招待体験飛行」でした。当時、奉仕活動の一環として招待者に「招待飛行」と共に記念品のお菓子等をお土産として渡しており、当時の青少年活動委員長（伊勢村先輩）が、例会場に奥様と共に沢山のお菓子を台車に乗せて持込み、招待者一人一人に声をかけ、手渡ししていた様子

を昨日の事の様に思い起こします。ロータリー活動とは、この様なことなのかと伊勢村先輩ご夫妻に教えられた記憶がございます。

国内RCの交流では、1994年11月28日に松本空港RCと国内姉妹クラブとして締結。1996年4月に「空港とロータリークラブを考える」と題して、「空港の安全と地域の発展を願う、“空港”と名のつく6つのRC」が一堂に集い、当クラブがホストとして「第1回空港RCフォーラム」を開催、以降、各クラブがホストとして開催し、フォーラムを通じて各クラブのロータリアン・ご家族と「友愛」を深めてまいりました事は、皆様もご存知の通りでございます。

続いて、2000年代ですが、2000年6月、私は、若気の至りで、あってはならない自分勝手な退会をして、多くの方にご迷惑をおかけしました。2000年からの6年間、私にとって「ロータリー空白の6年間」ですが、波多野先輩が、「身勝手な退会をした私と、当クラブを見えない糸で繋いで頂いた」お陰で、改めて2007年度・中島年度に再入会をさせて頂きました。会員数では、2000～09年（平均会員数55.6名）次の、2010～19年（平均会員数は52.5名）と顕著に減少傾向をしめしております。

前々年度（稲熊年度）、前年度（原田年度）と2年に渡り、このコロナ禍で計画されていた奉仕活動、通常例会が実施できない中、会員の皆様から色々なご心配やご意見等、当時の会長・幹事は、大変ご苦労された事かと存じます。6年前（創立記念例会）記念卓話を行って頂いた中島パスト会長から「ロータリーには、寛容な精神が最も必要である」と締めくくりの言葉を頂きました。本年度も、今暫くこのコロナ禍の中で「奉仕活動・クラブ運営等」田邊会長・川口幹事は、大変ご苦労をされるかと思われまます。このような時こそ、一会員として中島パスト会長が残した「ロータリーには、寛容な精神が最も必要である」を思い起こし、会員の皆様と共に田邊年度に協力出来ればと考えるところです。

最後に本日のテーマ「温故知新」は、「前に学んだ事や昔の事をもう一度調べたりして、新たな道理や知識を見出し、自分のものにする。古いものを訪ね求めて、新しい事柄を知ること」で、「温」の字は、「訪ね求める意味」ですが、一説によると「冷めたものを温め直し、改めて味わう」との意味もあるようです。

当クラブのチャーターメンバー37名は、クラブ創立に向かい、熱い気持ちで当クラブを立ち上げた事かと想像されます。現在、最小会員数47名（創立時を除く）。決して冷めたとは考えておりませんが「少し冷めかけたロータリー活動に、改めてロータリー熱を温め直し」前年度（原田年度）のテーマでもあった「創立50周年」に向けて、チャーターメンバーの熱い思いを受け継ぎ「このコロナ禍でのロータリー活動の在り方、又、クラブ存続に必要な会員増強に向けた活動等」会員一丸となって活動できればと考え、本日の卓話の締めくくりと致します。

## ゴルフ部会



2021年7月20日  
藤岡カントリークラブ

優勝 高山 光雄 君  
準優勝 柴田 弘 君

## 表敬訪問

2021年7月28日  
豊山町長へ表敬訪問



2021年7月29日  
空港長へ表敬訪問

